

# 戸籍の窓

10月1日～11月末届出分  
(ゴシック文字は地区在住)

## ●すこやかに

- 永原 将喜(まさき)くん (一喜さん、御波)
- 徳田 飛龍(ひなた)くん (俊輔さん、御波)
- 有馬 里桜希(りおき)くん (広晋さん、東)
- 的地 紀咲子(きさき)ちゃん (正憲さん、菱浦)
- 藤原 みひりちゃん (サミールさん、中里)
- 杉原 璃莉(りり)ちゃん (伸司さん、菱浦)
- 佃 魁斗(かいと)くん (晃治さん、西)
- 名越 彩穂(さほ)ちゃん (将博さん、菱浦)
- 檜橋 颯(あきら)くん (真咲子さん、菱浦)

## ●えんむすび

- 有馬 英孝さん(東)
- 西井 恭子さん

## ●やすらかに

- 津久田 純平さん(知々井)
- 釣澤 智沙さん
- 米田 敏晃さん
- 中野 裕美子さん(崎)
- 花谷 崇さん(東)
- 塚村 あゆみさん
- 千崎 隆史さん(御波)
- 大塚 奈津美さん
- 佐藤 隆弘さん
- 山本 美幸さん(東)
- 濱藤 冴樹さん
- 濱崎 亜衣さん(北分)
- 福島 知典さん(菱浦、96)
- 千歳 まり子さん(福井、57)
- 佐藤 安亥さん(東、65)
- 浮田 菊重さん(東、77)
- 内藤 初枝さん(東、84)
- 道根 亨さん(豊田、91)
- 由良 確さん(西、85)
- 美田 アキノさん(菱浦、97)
- 扇谷 善弘さん(北分、65)
- 菊地 勝美さん(多井、91)
- 田村 ミチ子さん(菱浦、85)
- 世戸 忠雄さん(中里、67)
- 青山 正光さん(福井、85)
- 子隅 ミツ子さん(崎、91)

※年齢は満年齢です

※「寄付金等への御礼」は、P22に掲載させていただきました

お正月拡大版

## キラリ★海士人

### 健康‘超’寿、ここにあり！

波多 總一さん (101歳、東)

**力**のあるまなざし、ユーモラスな語り口で相手の心をつかむ波多さんは、御歳101歳。昨年9月、「心身ともに健康で現役意識を持ち続けている百歳以上の方」を県が表彰する『しまね健康超寿者』に選ばれました。

「戦争で胸に貫通銃創(銃弾が体を貫通)。胸椎4番と5番の間を弾が抜けたけど、生きてた」。

終戦で海士に戻ってからは夫婦で延縄漁をしていましたが、昭和22年2月8日に林業技術員として役場へ。「1月31日の大シケの夜、豊田港に置いていた船を守ろうと裸で海へ飛び込んで、風邪ひいた。寝込んでたところへ、村長からじきじきに入庁の依頼があつて…」。

港湾工事などを数多く手がけた後、昭和39年に初代総務課長に。さらに、踊りも唄も得意な波多さんは、NHKふるさとの歌まつり(昭和42年)などのイベントに海士の女性達がキンニャモニャ踊りで出場する際には、指導者兼マネージャーとして、県内外の各地へ引率しました。「キャラバン隊のによばんこ達を連れて東京にも行った！」というのは自慢の一つです。

町制施行では重要な任務を果たし、退職後も、観光協会事務局長や老連会長として地域貢献。郷土史の本を出版するなど、八面六臂の活躍を続けてきました。



「長女が織ってくれた」という袖無しを着て、嬉しそう。

「お父さんに、勉強は死ぬまでやれと言われた。だから今も絶えず勉強、常に本を読む」。一生学び、成長し続けようとする姿勢こそが、元気の秘訣のようです。

誕生日は明治44年12月8日で、本人曰く「この日はお釈迦さんが悟りを開いた日だから、私には仏がついている」。弾が貫通しても真冬の海に飛び込んでも死なず、仏様のご加護のようなミラクルを体験してきた波多さん。「仏さんに寿命を聞いたら、『いつ頃か』って言っとった。いつ(1)ご(5)ろ(6)で156歳ってことだな！」

3時間話し続けても勢いは衰えず、その様子は活力がじわじわ湧き続ける泉のようでした。海士が誇るスーパーおじいちゃん、今年もお元気で！(聞き手：岡本)